

令和6年度 第1回一関清明支援学校「公開講座」報告

令和6年度一関清明支援学校公開講座「病弱・身体虚弱児童生徒の理解と支援」を7月26日(金)に本校舎で開催しました。病弱教育の経験がある本校職員が講師を務め、校内・校外合わせて15名の先生方にご参加いただきました。


当日は、「病弱・身体虚弱とは」や「病弱・身体虚弱の子どもの教育の場」などの基礎的な内容と、本校の病弱・肢体不自由教育(教育課程・時間割・通知表)や医療的ケアの実際、関係機関との連携について、具体的な事例や取り組みの様子を交えながら紹介しました。

参加者の方からは、「病弱教育が思った以上に広く深く、難しいものだと分かった。」や「困難さについては本当に見極めが難しく、保護者との共通理解は大切だと感じた。」「認知的に高い児童生徒さんたちが自ら生きるために必要な医療的ケアの準備に関わることはとても大事なと思った。」などの声が聞かれました。

～講義の内容を一部ご紹介します～

講義①「病弱・身体虚弱児童生徒への支援」より

病弱・身体虚弱の児童生徒とは？



学校教育においては…

病弱とは、心身の病気のため継続的又は繰り返し医療又は生活規制(生活の管理)を必要とする状態

身体虚弱とは、病気ではないが不調な状態が続く、病気にかかりやすいなどのため、継続して生活規制を必要とする状態

*どちらも医療用語ではなく、一般的な意味で用いられる用語


2

講義②「本校の病弱教育・関係機関との連携について」より

関係機関と連携することで

- ・支援に必要な情報が得られる
- ・保護者との共通理解
- ・必要な時に必要な支援ができる
- ・指導上の留意点がわかる
- ・対応力の強化・ボトムアップにつながる

講義③「医療的ケアについて」より



看護師さんがいるから、
〇〇も頼もうかな。
今日から、このケアも
やってください!

病院ではありません。
主治医によって
学校で行う医療的ケアとして
「指示」された行為のみを行う
ことができます。



[問い合わせ先]

TEL 0191-25-3210

担当:相談支援部・山目校舎小学部 森 智美